



学校だより

伸びゆく子

令和6年4月8日
横浜市立中沢小学校
4月号

しなやかに生きる力 ~自分らしく、ひびきあいを大切に~

学校長 川又美貴子

12年ぶりに4月にずれ込んだ桜の開花が、子どもたちの入学、進級をお祝いしてくれる中、99名の新生を迎えた全校673名で令和6年度がスタートしました。新しいクラスの名簿を受け取る子どもたちのドキドキワクワクしている表情は、いつの年も変わらず期待と不安とが入り混じっているように見えます。新しい環境に慣れるのには、やはり少しのエネルギーと時間が必要です。今年は新年度の始まりの週が5日間続くので、きっと金曜日にはどっと疲れが出るのではないのでしょうか。新しい友達、先生、教室、勉強……。新しいこと尽くしの緊張を乗り越えるまで、目いっぱい張り切る子、自分から話しかけるのが難しい子、じーっと周りの様子を観察する子、いろんな人に話しかける子、それぞれの形で過ごしていくことと思います。



そんな子どもたちが少しでも安心して、スムーズに新しい環境に慣れていくことができるように、4月当初は全学年でスタートカリキュラムとして、簡単なレクリエーションや仲間づくりの活動などを取り入れていきます。また、担任だけでなく、すべての職員がちょっとした機会での子どもたちへの声かけを大切にして、一人ひとりに居場所の感じられる環境づくりに努めていきたいと思っています。

さてこの時期、子どもたちはご家庭で新しい環境への不安を口にするかもしれません。そんな時は、「そうなんだね。」と温かく受け止めてもらえるとよいと思います。そして、不安を乗り越えるにはどうしたらいいか、子どもたち自身が考え、向き合っていけるように見守ってあげてほしいと思います。不安を乗り越える力は、生きていく上でとても大切な力です。大人が障壁を取り除いてあげるだけでは、いつまでも「困ったら誰かが何とかしてくれる」という生き方になってしまいます。「心配だから、先生に相談してみよう。」「ちょっと気になるけど、慣れれば平気かな。」「友達に聞いてみよう。」など、それぞれの乗り越え方、また時にはやり過ごすことも選びながら、しなやかに生き抜く力をつけていってほしいと思うのです。

今年も、学校内外を問わず、たくさんの人、もの、こととのかかわりを大切にしながら、さまざまな問題や困難に向き合い、一人ひとりが自分らしさをかたちづくり、仲間とひびき合いながら更に高め合っていけるよう、教職員一同、力を尽くして参りたいと思います。今年度も本校の教育活動へのご理解、ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。